

平成29年2月2日
第2回がん対策推進協議会
島根県健康推進課がん対策推進室

資料1-3 (差替)

【修正】

島根県がん対策推進計画の進捗状況について

1 全体目標に対する進捗状況

【全体目標 1】

がんによる死亡者の減少（75歳未満のがん年齢調整死亡率（人口10万対）の低減）

数値目標	基準値	現状	目標値	
(男性) 30%低減	平成17年 131.5 (100%)	平成27年 105.2 (80.0%)	平成27年 97.3 (74%)	平成29年 92.1 (70%)
(女性) 24%低減	平成17年 60.6 (100%)	平成27年 54.9 (90.6%)	平成27年 48.5 (80%)	平成29年 46.1 (76%)

（厚生労働省：平成27年人口動態統計）

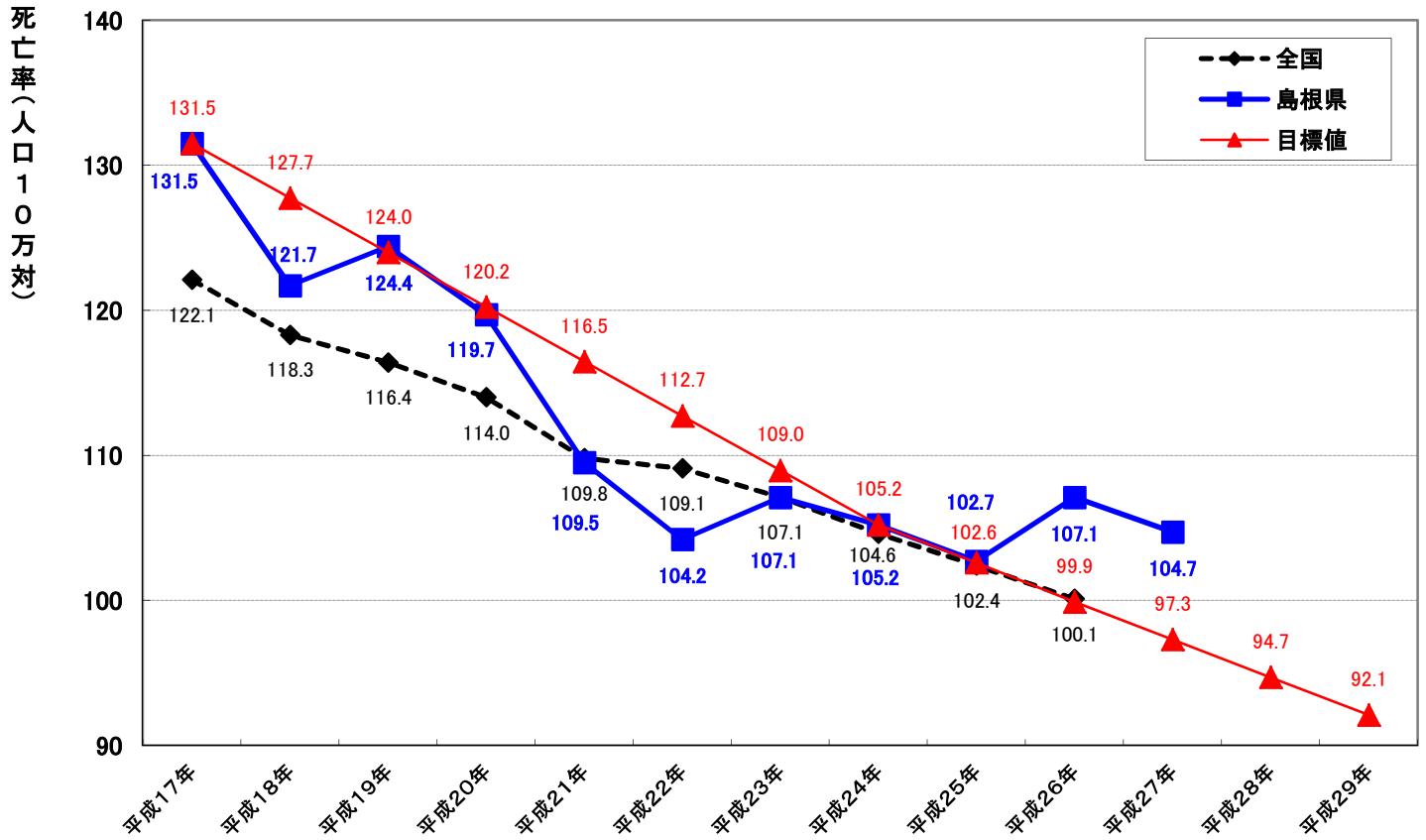
○【男性】全国は減少傾向。島根県は近年下げ止まりが見られる状況。

平成17年	131.5	（基準年）
平成23年	107.1	（計画策定時）
平成24年	105.2	
平成25年	102.7	
平成26年	107.1	
平成27年	105.2	（平成17年より 20.0 ポイントの減少）

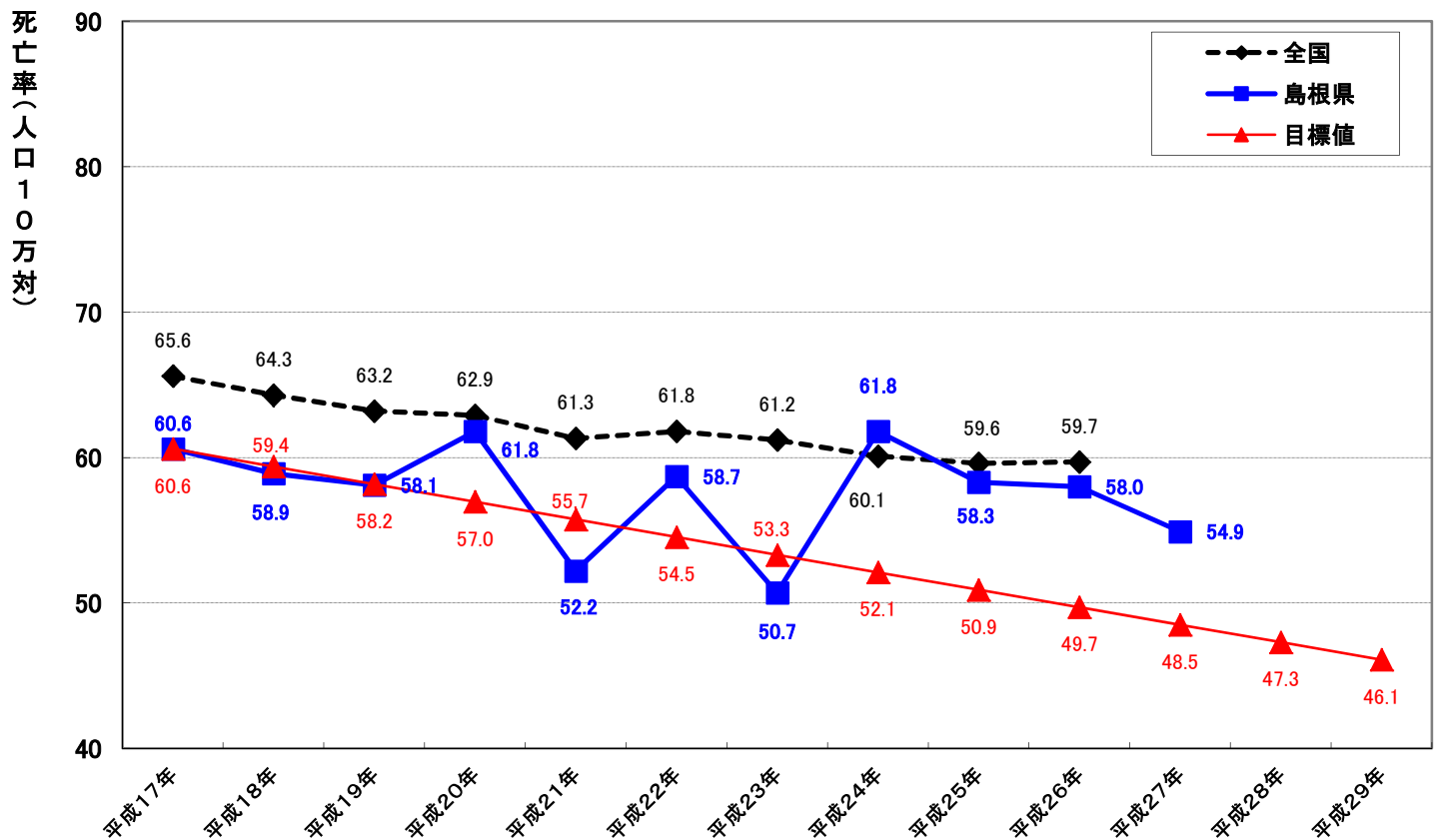
○【女性】島根県は、年により変動が大きい傾向。女性は全国より概ね低い水準で推移してきたが、近年下げ止まりが見られる状況。

平成17年	60.6	（基準年）
平成23年	50.7	（計画策定時）
平成24年	61.8	
平成25年	58.3	
平成26年	58.0	
平成27年	54.9	（平成17年より 5.7 ポイントの減少）

がんの年齢調整死亡率(75歳未満)の年次推移
【男性】



がんの年齢調整死亡率(75歳未満)の年次推移
【女性】



		平成 22 年		平成 23 年		平成 24 年		平成 25 年		平成 26 年	
性別	順位	都道府県	値	都道府県	値	都道府県	値	都道府県	値	都道府県	値
男	1	長野	83.9	長野	83.2	滋賀	84.8	長野	83.6	長野	80.4
男	2	沖縄	96.5	滋賀	93.5	長野	86.2	福井	86.9	滋賀	90.4
男	3	滋賀	96.8	香川	95.2	福井	86.7	山梨	87.0	福井	90.6
男	4	福井	97.3	熊本	95.4	三重	94.3	熊本	91.0	三重	92.3
男	5	熊本	100.3	岐阜	98.3	岐阜	95.1	滋賀	92.7	静岡	92.6
男	6	静岡	101.0	奈良	98.4	山梨	96.0	岐阜	94.5	富山	93.1
男	7	三重	101.3	富山	98.9	石川	97.4	静岡	94.8	岐阜	93.6
男	8	岐阜	101.5	静岡	99.1	熊本	97.4	石川	95.1	熊本	93.7
男	9	香川	102.0	福井	99.1	千葉	97.7	大分	95.6	千葉	93.9
男	10	千葉	102.3	岡山	99.2	香川	97.7	三重	96.3	石川	94.3
男	11	島根	104.2	千葉	100.0	奈良	98.2	群馬	96.4	沖縄	94.4
男	12	神奈川	104.4	群馬	101.5	静岡	98.6	香川	97.0	福島	95.3
男	13	富山	104.7	沖縄	102.7	岡山	99.8	沖縄	97.0	大分	96.1
男	14	大分	105.2	石川	103.0	群馬	99.8	岡山	97.2	山梨	96.1
男	15	岡山	105.4	三重	103.1	茨城	99.8	埼玉	97.9	愛知	96.2
男	16	山梨	105.4	大分	103.1	沖縄	100.2	広島	98.4	広島	96.3
男	17	宮崎	105.5	埼玉	103.9	神奈川	101.3	神奈川	98.7	宮崎	96.4
男	18	群馬	106.0	徳島	104.0	宮城	101.7	千葉	99.1	宮城	96.6
男	19	石川	106.1	東京	104.0	愛知	102.7	宮城	99.9	高知	96.7
男	20	山形	106.2	愛知	104.3	埼玉	102.7	愛知	100.2	徳島	97.8
男	21	宮城	106.5	山梨	105.0	広島	102.7	徳島	100.3	奈良	98.0
男	22	広島	106.7	山形	105.2	徳島	102.8	栃木	100.3	東京	98.2
男	23	鹿児島	106.9	新潟	105.6	東京	103.0	富山	100.7	神奈川	98.5
男	24	愛知	107.1	宮城	105.6	大分	103.1	福島	100.9	埼玉	98.7
男	25	茨城	107.2	広島	106.6	山形	103.2	茨城	101.1	群馬	99.0
男	26	徳島	107.2	栃木	106.9	富山	103.5	奈良	101.2	山形	99.6
男	27	栃木	107.3	茨城	107.0	高知	103.6	京都	101.4	鹿児島	100.1
男	28	埼玉	107.6	福島	107.0	京都	103.7	宮崎	101.6	岡山	100.4
男	29	奈良	107.8	島根	107.1	島根	105.2	新潟	101.6	岩手	100.5
男	30	京都	108.0	愛媛	107.4	栃木	106.6	東京	102.4	栃木	100.9
男	31	福島	109.4	京都	107.6	宮崎	107.5	山形	102.6	茨城	101.5
男	32	東京	109.6	宮崎	107.8	岩手	108.8	島根	102.7	京都	101.5
男	33	新潟	110.1	神奈川	107.8	山口	108.9	愛媛	102.9	愛媛	102.2
男	34	長崎	113.1	鹿児島	107.9	鳥取	108.9	兵庫	106.5	山口	102.6
男	35	山口	114.3	兵庫	109.7	福島	109.2	鹿児島	106.8	兵庫	103.1
男	36	兵庫	114.7	山口	112.5	兵庫	109.3	岩手	106.8	新潟	104.0
男	37	福岡	116.2	高知	115.1	新潟	109.5	山口	107.9	香川	104.3
男	38	岩手	116.3	佐賀	115.3	鹿児島	109.7	和歌山	108.0	佐賀	106.4
男	39	佐賀	116.7	長崎	116.1	愛媛	111.1	高知	108.9	福岡	106.7
男	40	愛媛	116.7	岩手	116.3	福岡	112.5	福岡	111.1	島根	107.1
男	41	大阪	117.9	福岡	117.7	大阪	113.6	佐賀	112.0	大阪	108.8
男	42	北海道	120.4	大阪	118.3	長崎	113.7	秋田	112.2	長崎	109.5
男	43	和歌山	121.0	北海道	118.8	佐賀	116.1	長崎	112.6	北海道	110.2
男	44	高知	121.6	秋田	121.0	北海道	117.5	北海道	113.0	和歌山	110.9
男	45	鳥取	128.5	和歌山	122.5	和歌山	117.5	大阪	113.2	鳥取	115.6
男	46	秋田	128.7	鳥取	122.9	秋田	117.9	鳥取	118.7	秋田	116.6
男	47	青森	135.2	青森	135.1	青森	127.6	青森	131.2	青森	131.4

		平成 22 年		平成 23 年		平成 24 年		平成 25 年		平成 26 年	
性別	順位	都道府県	値	都道府県	値	都道府県	値	都道府県	値	都道府県	値
女	1	長野	52.1	岡山	49.7	徳島	47.8	滋賀	49.4	香川	47.8
女	2	山梨	52.9	島根	50.7	香川	51.7	長野	49.8	三重	50.8
女	3	大分	53.5	福井	51.1	長野	52.2	富山	51.9	宮崎	52.2
女	4	滋賀	54.3	香川	53.4	福井	53.6	大分	52.1	山梨	54.3
女	5	新潟	55.5	新潟	53.8	山梨	54.3	徳島	53.7	新潟	54.5
女	6	三重	55.5	大分	54.5	熊本	54.3	広島	54.0	広島	54.5
女	7	広島	55.7	宮崎	54.6	滋賀	54.6	熊本	54.2	滋賀	54.8
女	8	岡山	55.8	三重	55.0	三重	54.6	岡山	54.4	岡山	54.9
女	9	山形	56.9	山梨	55.2	宮崎	55.3	三重	55.3	山口	55.1
女	10	富山	57.4	徳島	56.1	広島	55.3	愛媛	55.6	熊本	55.4
女	11	沖縄	58.7	滋賀	56.3	新潟	55.3	石川	55.6	福井	55.6
女	12	島根	58.7	沖縄	56.5	富山	55.5	宮城	55.8	奈良	55.8
女	13	福井	58.8	長野	56.8	奈良	55.5	福井	55.9	富山	56.3
女	14	宮城	59.0	広島	56.9	岡山	56.4	山口	56.4	大分	56.9
女	15	香川	59.1	熊本	57.5	石川	56.6	香川	57.2	長野	57.1
女	16	高知	59.2	愛媛	57.7	沖縄	56.9	岩手	57.4	兵庫	57.3
女	17	石川	59.5	福島	57.9	高知	57.5	鹿児島	57.7	宮城	57.4
女	18	愛媛	59.5	石川	58.3	鹿児島	57.7	宮崎	57.9	愛媛	57.5
女	19	岐阜	59.8	京都	58.7	千葉	57.8	奈良	58.2	和歌山	57.8
女	20	徳島	60.4	岩手	59.0	大分	58.1	島根	58.3	徳島	58.0
女	21	福島	60.6	茨城	59.5	岩手	58.5	山梨	58.5	島根	58.0
女	22	奈良	60.9	愛知	59.5	山形	58.5	京都	58.5	群馬	58.7
女	23	兵庫	61.1	岐阜	59.6	福島	58.5	愛知	58.7	山形	58.9
女	24	熊本	61.2	宮城	60.1	静岡	58.5	千葉	58.8	愛知	58.9
女	25	愛知	61.3	千葉	60.2	群馬	58.6	沖縄	59.1	京都	59.0
女	26	宮崎	61.5	山形	60.8	兵庫	58.6	岐阜	59.2	沖縄	59.0
女	27	群馬	61.7	兵庫	60.9	栃木	59.5	和歌山	59.2	石川	59.1
女	28	神奈川	61.8	高知	61.2	長崎	60.1	山形	59.4	神奈川	59.3
女	29	千葉	62.1	静岡	61.8	愛媛	60.3	静岡	59.5	岐阜	59.4
女	30	茨城	62.2	栃木	62.0	愛知	60.4	兵庫	59.9	秋田	59.5
女	31	静岡	62.4	鹿児島	62.1	岐阜	60.6	福島	59.9	鹿児島	59.8
女	32	埼玉	62.9	埼玉	62.6	山口	60.7	神奈川	60.3	東京	60.4
女	33	鹿児島	63.0	神奈川	62.6	宮城	61.2	群馬	60.4	埼玉	60.5
女	34	福岡	63.3	東京	63.1	和歌山	61.4	東京	60.7	千葉	60.6
女	35	佐賀	63.5	群馬	63.2	神奈川	61.4	埼玉	60.8	鳥取	60.6
女	36	東京	63.7	奈良	63.2	東京	61.8	茨城	61.1	岩手	60.8
女	37	京都	64.1	長崎	63.5	島根	61.8	栃木	61.3	福島	61.1
女	38	栃木	64.1	鳥取	63.9	鳥取	62.2	福岡	61.6	栃木	61.1
女	39	岩手	64.4	山口	64.2	京都	62.3	鳥取	61.8	大阪	61.4
女	40	秋田	64.5	福岡	64.4	埼玉	62.6	大阪	61.9	茨城	61.5
女	41	山口	64.5	秋田	64.6	福岡	63.0	高知	63.2	高知	61.6
女	42	大阪	65.2	富山	65.5	佐賀	63.1	新潟	63.2	静岡	61.7
女	43	和歌山	66.3	青森	66.3	大阪	63.2	佐賀	63.4	長崎	63.7
女	44	北海道	67.0	大阪	66.3	秋田	63.3	長崎	66.7	福岡	63.9
女	45	長崎	67.4	北海道	68.6	茨城	63.7	秋田	67.1	佐賀	68.6
女	46	鳥取	68.0	和歌山	69.1	北海道	66.4	北海道	68.0	北海道	69.7
女	47	青森	72.7	佐賀	73.0	青森	71.3	青森	72.8	青森	69.8

【全体目標 2】

すべてのがん患者とその家族の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上

※「分野別の進捗状況」において記載・説明

【全体目標 3】

がんになっても安心して暮らせる社会の構築

※「分野別の進捗状況」において記載・説明

2 分野別の目標に対する進捗状況

1 がんの1次予防（発生リスクの低減）

指 標	計画策定時	現状	目標値	備 考
①生活習慣の改善	平成 22 年度	平成 28 年度に 実態調査予定	平成 29 年度	
・ 野菜の摂取量を増やす（1日摂取量 350g 以上の者の割合）	男 46.1% 女 38.6%		53.1% 49.3%	
・ 20 歳代において 1 日の野菜摂取量が 350g 以上の者の割合	27.8%		33.9%	
・ 30 歳代において 1 日の野菜の摂取量が 350g 以上の者の割合	36.0%		43.0%	
・ 果実を適量摂取する者を増やす（1日摂取量 100g 以上の者の割合）	男 32.9% 女 43.0%		41.4% 51.5%	
・ 適切に食塩を摂取している者を増やす（1日摂取量 8g 以下の者の割合）	男 23.5% 女 31.1%		31.8% 40.6%	
・ 多量飲酒している者を減らす（男性は毎日 2 合以上、女性は毎日 1 合以上飲酒する者の割合）	男 9.0% 女 3.0%		7.9% 2.8%	
・ 運動習慣を持つ者の割合を増やす（1日 30 分以上の運動を週 2 回以上、1 年以上実施している者の割合）	男 28.3% 女 22.2%		34.2% 24.6%	
②喫煙率	平成 22 年度	平成 28 年度に 実態調査予定	平成 29 年度	
・ 男性 (20～79 歳)	30.7%		21.5%	
・ 女性 (20～79 歳)	7.0%		5.1%	
・ 男性 (20～39 歳)	46.0%		31.9%	
・ 女性 (20～39 歳)	11.3%		8.4%	

指 標	計画策定時	現状	目標値	備 考
③未発見のB型又はC型 肝炎ウイルス感染者数	平成 23 年度 約 7,000 人	平成 27 年度末 約 5,500 人	平成 29 年度 3,500 人以下	

○「①生活習慣の改善」及び「②喫煙率」について、平成 28 年度に実態調査の予定

○「③未発見のB型又はC型肝炎ウイルス感染者数」については、肝炎ウイルス検査の累積受検者数から求めているが、受検データの分析により、過去に何回も検査を受けている場合もあることが判明しており、推定値として掲げたものである。今後、着実に受検者数を積み上げていくためにも、市町村事業所団体等と連携し、検診を推進する。

2 がんの2次予防の推進（早期発見・早期受診）

指 標	計画策定時	現状	現状（試算）	目標値	備 考
①がん検診受診者数（総数）	平成 23 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 29 年度	受診者数は次の合計数（市町村、環境保健公社、JAしまね厚生連、ヘルスインスentia-島根、医療機関実施の人間ドック） ※乳がん検診はマンモグラフィ検診受診者数
・胃がん検診	98,595 人	103,354 人	101,004 人	145,800 人	
・肺がん検診	135,108 人	145,683 人	146,758 人	145,800 人	
・大腸がん検診	137,843 人	147,968 人	151,698 人	145,800 人	
・子宮頸がん検診	34,753 人	36,308 人	34,675 人	53,800 人	
・乳がん検診	30,585 人	31,461 人	32,300 人	41,200 人	
②がん検診受診者数・受診率（40～69 歳）	平成 23 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 29 年度	受診者数は次の合計数（市町村、環境保健公社、JAしまね厚生連、ヘルスインスentia-島根、医療機関実施の人間ドック） ※乳がん検診はマンモグラフィ検診受診者数
・胃がん検診	75,815 人 (27.0%)	80,100 人 (28.7%)	79,865 人 (28.7%)	127,100 人 (46.0%)	
・肺がん検診	78,910 人 (28.1%)	86,508 人 (31.0%)	90,993 人 (32.7%)	127,100 人 (46.0%)	
・大腸がん検診	97,429 人 (34.7%)	103,841 人 (37.3%)	109,429 人 (39.3%)	127,100 人 (46.0%)	
・子宮頸がん検診 (20～69 歳)	31,425 人 (30.1%)	33,515 人 (33.0%)	32,284 人 (32.4%)	48,100 人 (50.0%)	
・乳がん検診	25,286 人 (36.1%)	25,984 人 (37.5%)	26,685 人 (38.6%)	35,400 人 (52.0%)	
③市町村が実施するがん検診の精密検査受診率	平成 21 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 29 年度	精検受診率は「地域保健健康増進事業報告」を基に、一部追加調査を実施して算出
・胃がん検診	81.0%	86.8%	88.1%	90%以上	
・肺がん検診	82.8%	85.7%	86.8%	90%以上	
・大腸がん検診	64.2%	61.7%	63.4%	90%以上	
・子宮頸がん検診	73.0%	82.2%	67.4%	90%以上	
・乳がん検診	88.3%	92.2%	92.4%	90%以上	

- 「①がん検診受診者数・受診率（総数）」について、計画策定後の年度ごとの傾向をみると、各がんともやや増加してきたが、近年は伸び悩みが見られる。
- 「②がん検診受診者数・受診率（40～69 歳）」も同様の傾向である。
- 「③市町村が実施するがん検診の精検受診率」については、大腸がん検診や子宮頸がん検診は、やや低い数値にとどまっている。

3 がん医療の充実

指 標	計画策定時 (H24 年度)	現状 (H27 年度)	目標値		備 考
			平成 27 年度	平成 29 年度	
① 地域連携クリティカルパスの年間新規適用患者数	173 人 (累計) 270 人	260 人	248 人	295 人	拠点病院及び準じる病院における、新規に地域連携クリティカルパスを適用した患者数
②セカンドオピニオンを実施する病院数	21 病院	18 病院	—	28 病院	セカンドオピニオンの紹介を受けて実施した病院数
③ドナー登録者数	3,206 人 (H23 年度)	3,859 人	3,700 人	4,050 人	骨髄移植推進財団（日本骨髄バンク）のドナー登録者数

○「①地域連携クリティカルパスの年間新規適用患者数」については、平成 27 年度目標を上回った。

○「②セカンドオピニオンを実施する病院数」については、計画策定時を下回った。

○「③ドナー登録者数」については、順調に増加しているが、ドナーの年齢制限（54 歳以下）や高齢化などの影響により、将来見通しとして登録削除件数の増加が見込まれる。

指 標	計画策 定時 (H24年度)	現状 (H27年度)	目標値		備 考
			H27年度	H29年度	
①がん手術療法に携わる外科系医師数	301人	302人	320人	350人	各拠点病院等でがんの手術に携わる外科系医師
②がん薬物療法に精通した医師数	6人	9人	8人	10人	・日本臨床腫瘍学会認定「がん薬物療法専門医」
③放射線療法に精通した医師数	6人	6人	8人	10人	・日本放射線腫瘍学会認定「放射線治療専門医」数
④がん看護に精通した看護師数	1人	3人	3人	5人	・日本看護協会認定「がん看護専門看護師」
⑤がん薬物療法に精通した看護師数	6人	13人	14人	20人	・日本看護協会認定「がん化学療法看護認定看護師」
⑥放射線療法に精通した看護師数	0人	3人	3人	5人	・日本看護協会認定「がん放射線療法認定看護師」
⑦乳がん療法に精通した看護師数	2人	3人 (1人)	6人	10人	・日本看護協会認定「乳がん看護認定看護師」
⑧摂食嚥下療法に精通した看護師数	3人	6人	9人	15人	・日本看護協会認定「摂食・嚥下障害看護認定看護師」
⑨がん薬物療法に精通した薬剤師数	10人	13人	12人	15人	・日本病院薬剤師会認定「がん薬物療法認定薬剤師」「がん専門薬剤師」の合計数
⑩放射線療法に精通した放射線技師数	9人	11人	11人	13人	・日本放射線治療専門技師認定機構認定「放射線治療専門放射線技師」
⑪放射線療法の精度管理を行う専門職数	9人	12人	12人	15人	・放射線治療品質管理機構認定「放射線治療品質管理士」及び医学物理士認定機構認定「医学物理士」
⑫がん患者のチーム医療に参画するリハビリスタッフ数	—	60人	5人	10人	・各拠点病院でがん患者のチーム医療に参画するリハビリスタッフ数
⑬がん患者のチーム医療に参画する管理栄養士数	—	20人	5人	10人	・各拠点病院でがん患者のチーム医療に参画する管理栄養士数
⑭がん患者のチーム医療に参画する医療ソーシャルワーカー数	—	19人	6人	13人	・各拠点病院でがん患者のチーム医療に参画する医療ソーシャルワーカー数

⑮がんのリンパ浮腫療法に精通した専門職数	7人	10人 (1人)	12人	16人	・日本医療リハビリナージ協会 「リハビリナージセラピスト上級講習会修了者」数
----------------------	----	-------------	-----	-----	---

各医療機関への調査及び「各学会ホームページ」より把握
調査時点：平成28年8月
（）は島根県がん専門看護師緊急育成事業及び
がん対策募金活用事業による養成数

【医師】

○医師は、計画策定時に比べると概ね増加したが、平成27年度の目標値を達成したのは薬物療法に精通した医師にとどまった。

【看護師】

○看護師は、計画策定時に比べると増加している。ただし、平成27年度の目標については概ね達成したのもある反面、乳がん及び摂食嚥下療法に精通した看護師は目標値を下回った。

【薬剤師】

○薬剤師は、平成27年度目標を上回った。

【放射線療法スタッフ】

○放射線治療専門放射線技師は、平成27年度目標を達成した。
○放射線治療品質管理士及び医学物理士も、平成27年度目標を達成した。

【その他の専門スタッフ】

○各拠点病院でチーム医療に参画するリハビリスタッフ、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーは、いずれも平成29年度の目標値を上回っている。

○リンパドレナージセラピストは、計画策定時と比べ増加しているが、平成27年度の目標は下回った。

4 緩和ケアの推進

指 標	計画策定時 (H24 年度)	現状 (H27 年度) ②、③は調 査時期現在	目標値		備 考
			H27 年度	H29 年度	
①緩和ケアの基本的技術 を習得した医師数	509 人	860 人	800 人	1,300 人	・国が示す研修内容に基づく 「緩和ケア研修」を修了した 医師
②緩和ケアに精通した看 護師数	13 人	14 人	25 人	35 人	日本看護協会認定の「緩和ケ ア認定看護師」数 11 人及び 日本看護協会認定の「がん疼 痛看護認定看護師」数 3 人
③がん緩和薬物療法に精 通した薬剤師数	2 人	5 人	4 人	6 人	・日本緩和医療薬学会認定の 「緩和薬物療法認定薬剤師」 数

※②、③
「各学会ホームページ」により把握
調査時期：平成 28 年 10 月

- 「①基本的技術を習得した医師」については、緩和ケア研修会が 5 ヶ所の拠点病院及び島根県医師会の主催で実施され、141 名が修了し、計 860 人となった。(H27 年度末現在)
- 「②緩和ケアに精通した看護師」については横ばい。平成 28 年度は島根県立大学で開講されている緩和ケア認定看護師教育課程に県内から 15 名が入学しており、資格を取得する見込み。
- 「④がん緩和薬物療法に精通した薬剤師」については平成 27 年度の目標値を上回っている。

5 患者・家族等への支援

指 標	計画策定時 (H24 年度)	現 状 (H27 年度) ①は H28 現 在	目 標 値		備 考
			H27 年度	H29 年度	
①拠点病院・推進病院に設置されている「がん相談支援センター」の認知度	47.8%	49.7% 平成 28 年 度島根県県 民健康調査	50%	60%	H24 「平成 23 年度がんに関する 県民意識調査」 H26 63% (参考値) 「平成 26 年度がん患者の就 労等に関する実態調査」
②がん患者・家族等と 県・拠点病院との意見 交換会の開催	10 回	10 回	年 10 回 以上	年 10 回 以上	

○「①がん相談支援センターの認知度」については、平成 26 年度の患者を対象とした調査では 63%と、平成 29 年度目標値（60%）を上回った。

平成 28 年度に、一般県民を対象とした調査を実施する予定。

○平成 27 年度における「②がん患者・家族等との意見交換会」の開催状況は以下のとおり。

- ・がんサロン訪問による意見交換会
(4 月～3 月：4 圏域、7 箇所)
- ・がんピアサポーターとの意見交換会
(2 月：大田市内 1 回)
- ・県全体の意見交換会・交流会
(2 月：出雲市内 1 回)
- ・がん診療連携拠点病院長等とがん患者団体等との意見交換会
(3 月：出雲市内 1 回)

6 がん登録の推進・活用

指 標	計画策定時 (H24 年度)	現 状 (H27 年度)	目 標 値		備 考
			H27 年度	H29 年度	
①標準登録項目に沿った院内がん登録を実施し、県内集計に参加している医療機関数	12ヶ所	13ヶ所	14ヶ所	16ヶ所	
②がん登録精度DCN (死亡情報で初めて把握された症例／罹患数)	28.6%	13.6%	20%未満	10%未満	平成24年集計報告(H27.12)による

○「①院内がん登録を実施している医療機関」は、計画策定時と比べて1ヶ所増加した。

【院内がん登録実施医療機関（13ヶ所）】

- ・ 松江市立病院
- ・ 松江赤十字病院
- ・ 県立中央病院
- ・ 島根大学医学部附属病院
- ・ 国立病院機構浜田医療センター
- ・ 益田赤十字病院
- ・ 国立病院機構松江医療センター
- ・ 益田市医師会病院
- ・ 松江生協病院
- ・ 安来市立病院
- ・ 町立奥出雲病院
- ・ 済生会江津総合病院
- ・ 隠岐病院

○「②がん登録精度DCN」は、計画策定時と比べて15%減少している。DCN割合は、年を追う毎に順調に下降しており、情報提供促進病院ががん登録の届出に参加したことにより、27年度目標値を達成した。

7 がんに関する普及啓発・情報提供の推進

指 標	計画策定時 (H24 年度)	現状 (H27 年度)	目標値		備 考
			H27 年度	H29 年度	
県ホームページ 「しまねのがん対策」へのアクセス数	月平均 7,860 件	月平均 7,958 件 以上	月平均 9,000 件	月平均 11,000 件	

○平成27年度から県共通ホームページの改修により、「しまねのがん対策」ホームページへのアクセス数を全て把握できなくなったため、参考値として記載。

8 がんに関する教育・研究の推進

指 標	計画策定時 (H24 年度)	現状 (H27 年度)	目標値		備 考
			H27 年度	H29 年度	
保健学習以外でがんに関する取組を行う学校数 ・小学校(229校) ・中学校(104校) ・高等学校他(65校) ()内は平成24年度現在の学校数	14校 20校 14校	121校 76校 33校	— — —	229校 104校 65校	※公立及び私立の学校数であり、高等学校他には特別支援学校も含む

○がん教育を実施した学校数は増加している。

各学校の独自性を生かしたがん教育として、がん患者の体験談や医師等の講話を聞いて命を守ることの大切さを学ぶ内容や、たばこ対策に取り込む、学校新聞にがん情報を入れるなど実施されてきている。